



## “絶景秘境路線”の只見線を走った、JRキハ40系をスペシャルセットで発売!!



●只見線的魅力を凝縮した小冊子付き。



●「ON-OFFスイッチ」を備えるヘッド・テールライト、前面表示は白色LEDによって点灯し、カラーフリズムによってヘッドライトは電球色に近い色で、テールライトは赤く点灯します。なお、この前面表示は印刷済みバーツによる選択式として「会津若松」を装着し、その交換用に「小出」「会津川口」を用意しています。また、車両の“顔”となる前面は、立体的かつ実感的に再現するべく、ジャンパホースを別バーツとし、この他にも「シャッターフorm・スリット形」の大小4種類を描いたタイフォン、崩脱式の幌枠などのバーツを付属しています。さらに、ハイグレード仕様として、カブラーはボディマウント式密自連形TNカブラー(SP)を取り付けられています。

●只見線用キハ40系の特徴であった、先頭部屋根上の丸い衛星携帯電話アンテナと、これをソララなどから保護する金属製ガードを、列車無線アンテナ、信号炎管とともに付属しています。



●実感的な2段側窓と併せて、客ドアは靴ズリと窓ガラス下のステンレス製ドアアレルも再現しています。また、同系オリジナルのDM-15HSAエンジンとDW10形液体変速機を始めとした下回りも立体的かつ実感的に再現、別バーツとしてトイランタンやエタングを付属しています。さらに、灰色のDT44A・TR227A形台車は、付属する排障器バーツを取り付けることで、足回りをより実感的に見ることができます。

只見線は福島県会津地方の中心地会津若松と、新潟県魚沼地方の小出を結ぶ全長135.2kmの路線で、県境の六十里越トンネルをはさんだ福島県側は、只見川に沿う風光明媚な沿線風景が広がり、“絶景秘境路線”として、四季を通じて多くの人々を魅了してきました。また、同線は列車本数が少ないローカル線ながらも沿線が豪雪地帯のため、並行する国道が冬季閉鎖されることから営業が続けられてきました。2011年7月の豪雨災害により、只見線は一部区間で不通となっていましたが、部分復旧を経て昨年10月には最後まで不通となっていた会津川口～只見間が復旧し、11年ぶりに全線での運転再開を果たしました。

1971(昭和46)年8月の全線開通以来、只見線では旅客輸送にキハ10系やキハ20系、キハ45系が使用され、後にキハ55系やキハ58系が加わり、さまざまな国鉄型ディーゼルカーが見られました。さらに、1980(昭和55)年よりキハ40系の運転が開始され、国鉄の分割民営化時にはキハ58系とキハ40系がその任に当たっていました。民営化後はキハ40系に統一され、同系が長らく活躍しましたが、昨年10月の全線復旧を待たずして、キハ110形とキハE120形に代わられ、只見線に於ける約40年に及ぶ歴史が打たれました。

トミックスでは只見線全線復旧を記念して、新製から引退まで只見線で活躍した東北地域本社色をまとったキハ40 581と、後年に同線唯一のキハ48形となり、トミックスでは初となる東北地域本社色の同形キハ48 551を、特別セットとして発売いたします。ハイグレード仕様のモデルは、冷房改造未施工の姿で再現、現行製品のリニューアルキハ40系と同様に、モーター車にM-13モーターを使用したフライホイール付き動力ユニットを採用しています。また、本セットでは車体番号、一部の標記を印刷済みとし、交換式の前面表示バーツは専用のものを用意します。さらに、四季折々の素晴らしい風景の中を走った只見線のキハ40系を捉えた数々の写真(マシマ・レイルウェイ・ピクチャーズ提供)に、沿線案内を加えた小冊子が付属します。

## キハ40系

(思い出の只見線)

特別企画品

JRキハ40系ディーゼルカー(思い出の只見線)セット(2両)  
<97955>予価¥21,340(税込)

JR東日本商品化許諾済

7月発売予定



### 新版トミックス総合ガイド(2023年版)、好評発売中!

近年生産のトミックス鉄道模型製品を中心に、発売予定製品の情報までを総合的に編集いたしました。直近の新製品の紹介、特集ページを巻頭に収め、より各製品の詳細な情報を充実させました。

■トミックス総合ガイド(2023年版)  
<7044>¥2,200(税込)

好評発売中